

の だうち

野田内遺跡

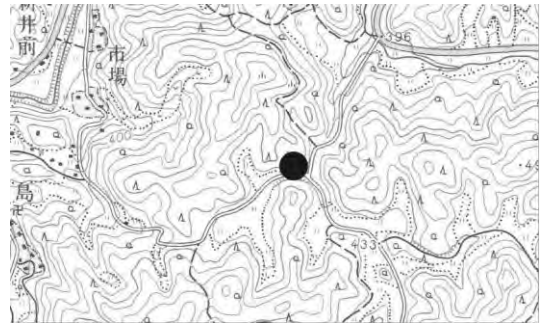
所在地 豊田市下山田代町地内
(北緯 35 度 1 分 34 秒
東経 137 度 18 分 54 秒)

調査理由 豊田・岡崎地区研究開発
施設用地造成

調査期間 平成 22 年 11 月

調査面積 120 m²

担当者 鵜飼雅弘・白井克尚



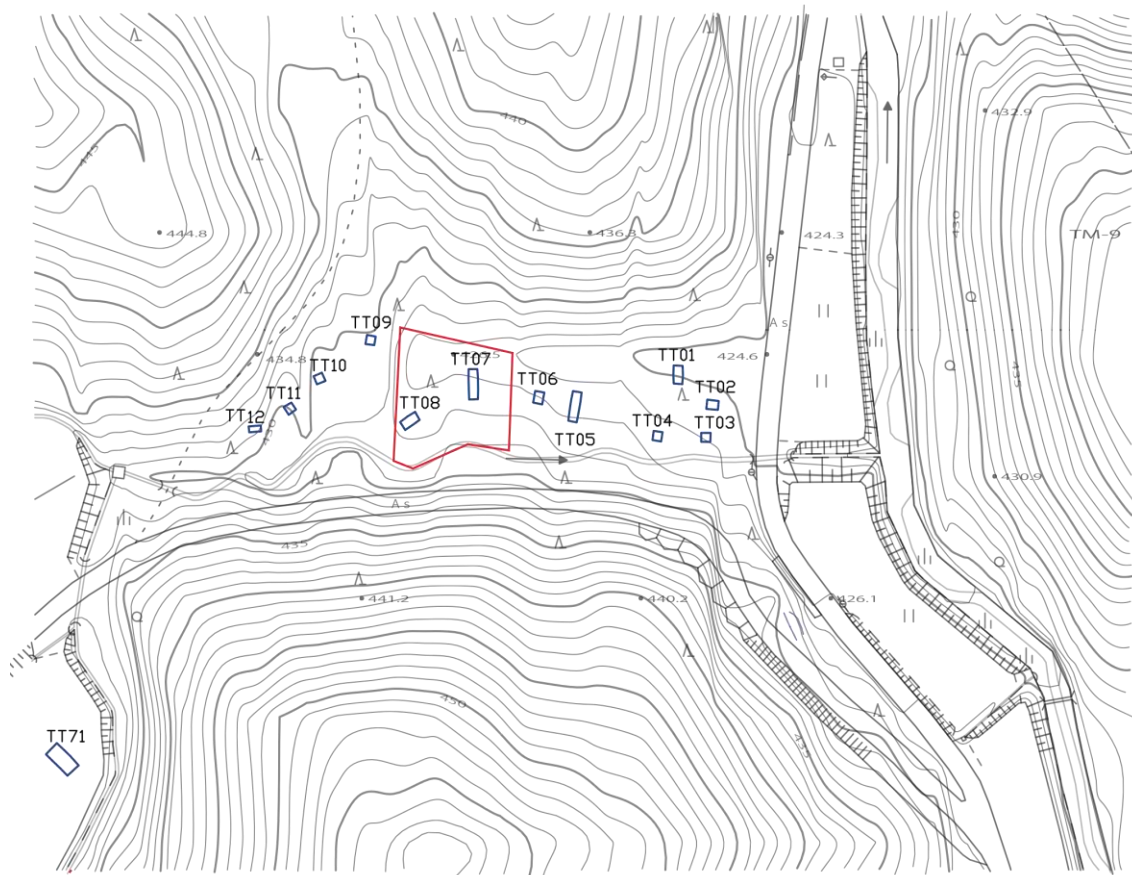
調査地点 (1/2.5 万「東大沼」)

調査の経過 野田内遺跡は平成 21 年に実施された県教育委員会の試掘調査により、遺物散布地として確認された遺跡である。豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成に伴う範囲確認調査として、愛知県企業庁より委託を受け実施した。

立地と環境 野田内遺跡は沖川に流れ込む支流に面した平坦部に立地する。標高は 425m から 430m をはかり、現況は耕作地跡である。調査地点の南には柿根田遺跡が隣接する。

調査の概要 調査では 12 カ所の試掘坑を設置した。調査面積は 120 m²である。
TT01 から TT06 のオリーブ黒色土からは、中世から近世にかけての遺物が出土したが、その下層は湿地状の堆積となる。これに対し TT07・TT08 はオリーブ黒色土の下層が比較的安定した堆積を示し、当該期の埋蔵文化財包蔵地とすることができる。

耕作地より 1 段高い場所に設定した TT09 から TT12 では、遺構・遺物とも検出できなかった。
(鵜飼雅弘)



野田内遺跡 試掘坑位置(S=1:1,000)